

# 1期生進路状況 (2018.11月時点·順不同)

1期生の進路状況は、内定者の約4割が大学病院へ。その他には、国立病院や企業立病院など多様な病院から内定を得ています。また、より高度な看護学を探求する為、大学院に進学する学生も複数名います。詳細は下記をご覧下さい。

# 大学病院系

京都大学医学部附属病院/京都府立医科大学附属病院大阪大学医学部附属病院/奈良県立医科大学附属病院神戸大学医学部附属病院/大阪市立大学医学部附属病院九州大学病院/兵庫医科大学病院/北里大学病院 他

# 公的病院系

大阪赤十字病院/大津赤十字病院 地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター 地域医療機能推進機構 大阪病院 りんくう総合医療センター 大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター

# 大学院進学・その他

横浜南共済病院

同志社女子大学大学院、養護教諭予定者等

### 国立病院系

国立循環器病研究センター 国立病院機構 近畿グループ

#### 一般病院系

住友病院/関西電力病院/日本生命病院 NTT東日本関東病院/高井病院 北野病院/淀川キリスト教病院 他

#### 本学の学生について



# 国立循環器病研究センター 看護部長 三井 佐代子氏

同志社女子大学の看護学部、第1期生の皆様のご卒業を心待ちにしていました。「思いやりの心」を軸として、専門的な知識・技術等を学ばれた皆様方は、それぞれの進路に向かって、素敵な看護師としての「夢」を描かれていると思います。

臨床現場は、複雑化・多様化しています。大学が掲げる「高度な専門性をもった心豊かなひとへ」は、卒業後も「学び続けること」を示唆し、その「力」も皆様は育まれています。

看護は、人々の健康問題に関わる尊い仕事です。常にチャレンジ精神で、共に歩みましょう。大いに期待しています。



# 司志社女子大学

# 国家試験対策

#### **①1**年次から実施するe-learning学習

授業の進度に合わせて国家試験の過去問題をセレクトし、各自のiPadに定期的に問題を配信。自由な時間に回答し、解説を読んで理解を深めることができます。各学期に復習・まとめテストも実施。これらを通して、授業の振り返りや国家試験との関連付け、出題傾向の把握ができるよう努めています。

#### 2きめ細かな個別指導

プラクティカル・サポート・センター (PSC) には、国家試験対策の担当スタッフが常駐しています。国家試験に向けた学習会や、e-learning学習、復習・まとめテストを通じて到達レベルを確認し、必要に応じて学生のサポートや相談を実施しています。

3年次からは、定期的に模擬試験を実施。その結果を踏まえ、個々の学生に応じた個別学習を支援するなど、 国家試験合格に向けてきめ細かなサポートを行っています。



## 学び

# さまざまな視点から看護をとらえ、看護の本質を追求。高度な専門性をもった心豊かなひとへ。

POINT 1

#### 看護の軸となる思いやりの心を養う

看護とは、看(み)て護(まも)ること。 キリスト教の精神を通して他者への思いやりや人に 寄り添う気持ちを養い、看護職者にとって最も大 切な心を育てます。

POINT 3

#### 現場で生きる看護力を磨く

専門的な知識・技術・態度を段階的に積み上げる 形で学び、臨地実習やシミュレーション学習、看 護 OSCE、e-learning などを通して看護実践力を 育てます。



実習室のほか、プラクティカル・サポート・センターでは自己学修のできる環境を整備しています。血圧測定モデル、フィジカルアセスメントモデル、心肺蘇生モデルなどの学修環境を常設し、常駐するインストラクターの指導のもと、いつでも練習可能です。また、薬学部とのコラボレーションによるチーム医療を学修する場所としても活用します。



看護技術を正しく修得する には繰り返し練習すること が大切。

シミュレーターなどを用いて看護技術を修得できます。



#### 幅広い知識と人間力を育む

異なる学部・学科の学生とともに学生生活を送る中で、幅広い知識・教養に加え、多角的な視点から物事をとらえる力を身につけます。



#### 看護のスキルを伸ばす充実した設備

看護学の専門領域ごとの実習室に加え、看護技術の基本を繰り返し練習できるプラクティカル・サポート・センターを整備。学生の主体的な学修を大切にしています。

#### 看護学部長からのメッセージ



同志社女子大学 看護学部長 岡山寧子教授

同志社女子大学の看護学部は、多様な看護ニーズに対応できる質の高い看護ニーズに対応できる質の高い看護してはなる。そのために、学生が総合大学ならにはない。その学びや人とのつながりを大切にしめで広い、視点でもの講義や実習を通して、場がしてもらい、看護学の講義や実習を通して、場がな生きる看護力を身にしいます。これからの人にいる本を場面で、「こんな看護がしてみたい」では、ちょりという思いを原動力に、キラッと光り続けています。









Always rising to a new challenge





[TEL]0774-65-8811 [FAX]0774-65-8460 [E-mail]examstaff@dwc.doshisha.ac.jp 〒610-0395京都府京田辺市興戸 http://www.dwc.doshisha.ac.jp/